

令和7年（2025）7月18日 前期全校集会 校長より

生徒の皆さん、おはようございます。新年度に入って4ヶ月目となり、早いもので明日から夏休みとなります。この間、合唱コンクールや文化祭が行われ、皆さんの行事に賭ける思いを目の当たりにし、そのクオリティの高さに感心しました。また、先ほど壮行会も行われましたが、各部活動の活躍の様子も耳に入ってきて、まさに文武両道、多摩高生ここにありといった活躍ぶりに心躍らされました。もちろん、苦しくて悩んだり、悔し涙を流したりしたこともあったかもしれません。しかし、その一つ一つがかけがえのない経験となったはずです。そこから何を学び、将来に生かすか、大切なことはプラスへの転換を図るということです。人生において無駄なことなど一つありません。ぜひその経験を成長につなげてほしいと思います。

さて、夏休みを前に、皆さんに「モノ」から「コト」への転換というお話をしたいと思います。「モノ消費」、「コト消費」というのはマーケティングの世界でよく言われることですが、かつて、戦後間もないころ、「モノ」に不自由していた人々は、「モノ」を持つことに価値を見出していました。高度経済成長と相まって、テレビ、洗濯機、冷蔵庫という、家電の三種の神器をこぞって手に入れようとしたのです。私も小さい頃、我が家にテレビがやってくる日に、朝から落ち着かなくて家の中と外を出たり入ったりしていたことを思い出します。やがて「モノ」があふれ、不自由のない生活が送れるようになってくると、今度は心豊かにするような体験や経験を充実させようと人々の志向が変化します。つまり、所有することに価値を見出す「モノ消費」から、何かをすること、すなわち「コト消費」への転換がみられるようになってきたわけです。ここで私はマーケティングの話をしようというのではなく、皆さんにこの「コト」を通じて、自らを成長させるきっかけを作ってほしいという、いわば心のありようのお話をしたいと思います。

映画を見たり美術館に行ったり絵画を見たり、ライブに行ったり音楽を聞いたり、ディズニーランドに行ったり思い出づくりをすることも立派な「コト消費」です。私は今、若い頃に夢中になって読んだ著作権の切れた本を無料で読み返していますが、このようにお金をかけなくても「コト消費」は実現可能です。読書だけでなく、学習や部活動、ボランティア活動、旅行に至るまで、およそ様々な体験が成長につながる「コト消費」になるでしょう。夏休みはいい機会です。ぜひ自分なりの「コト消費」を探し、実践してみてください。

それでは明日からの夏休みを有意義に過ごしてください。暑さが続きますが、くれぐれも熱中症などに気をつけて、体調を万全に保ち、安全に過ごすようにしてください。特にここ最近増えている水難事故についてはくれぐれも注意してください。それでは、夏休み明けにまた元気な姿でお会いしましょう。